Creative Enzymes®

# ネイティブ豚トリプシン

*Cat. No. NATE-0723*

*Lot. No.* (See product label)

## *はじめに*

| | |
|---|---|
| *□明* | トリプシン (EC 3.4.21.4) は、PAクランス一パ一ファミリ一に属するセリンプロテア一ゼであり、多くの脊椎動物の消化器系に存在し、タンパク質を加水分解します。トリプシンは、膵臓で不活性なプロテア一ゼであるトリプシノ一ゲンとして生成されます。トリプシンは、主にリジンまたはアルギニンのアミノ酸のカルボキシル側でペプチド鎖を切断しますが、いずれかの後にプロリンが続く場合は除きます。これは多くのバイオテクノロジ一のプロセスに使用されます。このプロセスは一般的にトリプシンプロテオリシスまたはトリプシン化と呼ばれ、トリプシンで消化または処理されたタンパク質はトリプシン化されたと言われます。 |
| *用途* | 免疫組織化学的手法での使用のため、染色を強化し、ル一チン固定および処理後に抗原をマスク解除するためのものです。ペプチドのトリプシン消化には、トリプシン:ペプチドの比率を約1:100から1:20で使用します。この製品の典型的な使用法は、培養面から付着細胞を除去することです。細胞を基質から剥がすために必要なトリプシンの濃度は、主に細胞の種類と培養の年齢に依存します。トリプシンは、細胞培養中の細胞の再懸濁、プロテオミクス研究におけるタンパク質の消化、およびさまざまなゲル内消化にも使用されています†。追加の□用には、膜ベースの技術による結晶化の評価や、タンパク質の折りたたみ速度と収率が動的トラップの存在によって制限されることを示す研究が含まれます。 |
| *別名* | α-トリプシン; β-トリプシン; コクーンアーゼ; パレンザイム; パレンザイモール; トリプター; トリピュア; 疑似トリプシン; トリプターゼ; トリップセリム; 精子受容体ヒドロラーゼ; アルファトリプシン; ベータトリプシン; EC 3.4.21.4; トリプシン |

## *製品情報*

| | |
|---|---|
| *種* | 豚の |
| *由来* | 豚膵臓 |
| *形態* | 凍結乾燥粉末 |
| ***EC番号*** | EC 3.4.21.4 |
| ***CAS登□番号*** | 9002-07-7 |
| *分子量* | 23.8 kDa |
| *活性* | タイプII-S、1,000-2,000単位/mg乾燥固体; タイプIX-S、13,000-20,000 BAEE単位/mgタンパク質 |
| *緩衝液* | トリプシンの溶解は、Ca2+ または Mg2+ を含まない緩衝塩溶液で行うべきです。この製品は、25 mg/mL の濃度でハンクスバランス塩溶液に溶解する凍結乾燥粉末です。 |

## *保管・発送情報*

| | |
|---|---|
| *保存方法* | 2-8°C |
| *安定性* | 1 mM HClの溶液は、-20°Cで保存されたアリコットで1年間安定しています。Ca2+の存在は、トリプシンの自己自己分解を減少させ、溶液中での安定性を維持します。トリプシンは、2.0 M尿素、2.0 Mグアニジン HCl、または0.1% (w/v) SDS中でもほとんどの活性を保持します。 |